

1. “桃源郷” フンザのレジリエンス

国際協力機構職員 萩原 律子

パキスタンに駐在中の 2022 年 5 月と 6 月の 2 回、北部ギルギット・バルチスタン地域（以下、GB）のフンザ県とその周辺（以下、フンザ）を旅行した。当初、3 月下旬が杏の花の季節と聞いて計画したが、悪天候のためフライトはキャンセル。ギルギット行の飛行機はナンガ・パルバット山（8126m）のすぐ脇を飛ぶため、天候が不安定な冬季とモンスーン期は、ほぼ飛ばない。気象観測の最新の技術をもってしても 7~8000m 級の山々に閉ざされたフンザ行は自然条件に制約される。

フンザでは、古来ガンダーラを目指して旅人が行き来した道を私もジープで辿り、ロシアと英国のグレート・ゲームを見守って来た藩王の城へも訪れた。急峻な山と氷河、深い谷と急流で阻まれ、カラコルム・ハイウェイ（1978 年完成。ウイグル自治区とパキスタンハッサナブルを結ぶ 1300km）が今でも冬季の凍結や、雨期の土砂崩れで封鎖されることも多い。カリマバードの位置する標高 2500m 辺の降水量は年間 350mm 程度の乾燥地で、GB 全体の耕地（0.55%）や森林（3.58%）はわずかだ。季節外れの暑さや雨に戸惑い、私たちが通った橋が 2 日後に氷河湖決壊で流されたニュースを聞いて、気候変動を肌で感じた。

もともと、地理学、環境科学を専攻し、山登りも好きな私は、フンザ地域の人々の生き抜く力（レジリエンス）は何に由来するのか考えさせられた。旅行で撮影した写真や動画を中心に紹介し、各分野の専門家との懇談のきっかけになればと思う。

2. 太陽系大航海時代 ~ 小惑星リュウグウに挑む

国立研究開発法人 海洋研究開発機構（JAMSTEC）・上席研究員 高野 淑識

中世の大航海時代は、新航路開拓や新大陸発見に熱狂した時代でした。ハイリスクな冒険に挑んだマゼラン、ガマ、コロンブスらは、王室や富豪からの莫大な投資に対して、新航路の遠征記録、未開拓地から持ち帰った数々の原地品（土産）のハイリターンによって、瞬時に大航海の冒険を成就させました。とりわけ、最高級の希少価値は、香辛料。わずかに持ち帰った「黒い胡椒（こしょう）」をピンセットでひとつ一つ、つまんで調べたという逸話も残ります。その後、未開の極域へ挑む探検も始まりました。

南極において、大和雪原（やまとゆきはら）を命名した白瀬轟（しらせ のぶ：1861-1946）は、幼年時代の寺子屋で、読み書き・そろばんのほか、マゼランやコロンブスらの探検記などに聞き入りました。日本の南極観測隊は、やまと山脈の氷原で初めて隕石を見つけ、Yamato 隕石と命名しました。地球に飛来する「隕石」は、太陽系の物質情報を持つ、いわば、「宇宙からの手紙」と言えるでしょう。

さて、2014 年に地球を飛び立った探査機「はやぶさ 2」。2020 年に地球帰還した小惑星リュウグウのサンプルは、科学者らを魅了し、驚愕させています。太陽系誕生から 46 億年の歴史、地球が誕生する前の姿、そして、化学進化の現場を直接知ることができます。これは、人類が希求してきた謎を解き明か

す絶好の機会です。前述のように隕石を「宇宙の手紙」になぞらえれば、はやぶさ 2 サンプルリターンは、「手紙の送り元」を訪問し、故郷（ふるさと）の原典情報を持ち帰ることに相当します。ここでは、小惑星リュウグウとこれからの展望をクローズアップします。

3. Outlier East への道 — 栃木の裏山からヒマラヤのウラヤマへ

青山学院大学山岳部 OB

萩原浩司

Outlier (Janak Chuli) はネパールの東、カンチェンジュンガ山群の北に中国と国境を接してそびえる峻峰である。そのユニークな山名はスコットランドの探検家、アレクサンダー・ケラスによって名付けられた。「探検登山の陰の巨人」として知られるケラスは 1911 年、ヒマラヤ東部の踏査行でジョンサンピークの一週を試みたが、この山の南麓で行きづまる。そして彼は、前進を阻んだこの山に対して The Outlier、英語で「局外者」転じて「離れ島」といった意味の名を冠したと言われている。

Outlier 登攀の歴史は比較的新しい。2002 年、ネパール政府が Janak Chuli (7090m) の名前で登山を解禁すると、2004 年にルーマニア隊が東峰の 6500m 地点に到達。翌 2005 年にはスロベニア隊が 6650m に至るが悪天候のために登頂断念。そして 2006 年、スロベニアのアンドレイ・シュトレムフェリとミハ・ハバンが南西ピラーから本峰（西峰）の初登頂に成功する。しかし東峰は未踏のまま残されていた。

そこに目をつけたのが青山学院大学山岳部であった。同大学は 2010 年に岩井胤夫を隊長とする 6 名の登山隊を組織し、Outlier 東峰の初登頂を目指す。雪の状態が悪く 6,700m 地点で無念の撤退。そして 2013 年、捲土重来を期した萩原以下 6 名の第二次登山隊が南西壁に挑み、初登頂に成功した。

今回は登山記録の詳細を中心に、栃木県のウラヤマで山の魅力に目覚めた私が高校・大学山岳部で山の基礎を学び、ネパール・ヒマラヤ東端の未踏峰登頂に至るまでの経緯について紹介したい。